

地域で学び、地域と共に歩む松本大学の今。

松本大学学報

sokyu
蒼穹

2023.12 Vol.153



冬のキャンパスを彩った学友会企画のイルミネーション(12月19日~27日)

特集

平和の尊さを同世代と共有 活動の幅を広げる 「平和創造研究会」の取り組み

P.02

- 「第2回松本大学健康首都会議」を開催
～延べ900名が多彩な講座から健康づくりの知識を学ぶ～ P.04
- 松本地域8市村の首長に学生考案の周遊プランを発表 P.06
- 過去最多の21名が「国内旅行業務取扱管理者試験」に合格! P.10
- 硬式野球部、創部以来初の快挙!オータムカップ優勝! P.15 ほか

平和の尊さを同世代と共有 活動の幅を広げる

「平和創造研究会」の取り組み

2021年5月、平和に関心をもつ学生有志と菅谷昭学長を中心に平和について学ぶ勉強会がスタートしました。これが、本学の平和教育への取り組みの第一歩です。勉強会は回を重ねるごとに活動内容が具体化していきました。同年9月には、平和アートイベントアプリを完成させ、10月には鹿児島県にある知覧特攻平和館を訪問し、過去の歴史と真剣に向き合いました。

2022年4月には、これまでの平和について学ぶ勉強会を引き継ぎ、戦争や平和について考えるサークルとして「平和創造研究会」を立ち上げました。平和創造研究会の立ち上げから2年目の今年度は、学生が主体となり月に1回の勉強会や様々なイベントおよび研修に取り組んでいます。今夏には2カ月間にわたり、安曇野市内の中学生と平和創造研究会の学生が平和について学びを深め、12月には、俳優の紺野美沙子氏の全面的な協力を得て「平和朗読会」を開催しました。

ここでは、安曇野市内の中学生とともに学んだ平和学習と平和朗読会についてご紹介します。

中学生の平和学習への支援を通して、 さらに平和についての学びを深める

2021年に安曇野市と包括的連携協定を締結し、協定に基づく初めての取り組みとして、安曇野市内の中学生と平和創造研究会の学生が7月～9月にかけて平和の尊さについて学習し、学生は主に、中学生の平和学習の助言や発表の支援などを行いました。事前学習会を経て8月5日、6日に、中学生とともに広島を訪問し、原爆ドームや平和祈念資料館の見学、平和記念式典に参列しました。9月には、2カ月間の平和学習で学んだ成果発表会が開かれ、学生たちは中学生のまとめ役となり、発表のサポートをしました。

中学生と一緒に広島を訪問した平和創造研究会の学生たちの報告をご紹介します。
(令和5年度 広島平和記念式典参加体験文集／安曇野市制作より一部抜粋)



藤田 達也さん (大学院総合経営研究科2年)

平和記念式典への参加および平和記念公園の見学を通して、広島という町の歴史と戦争の現実について学び、中学生の皆さんがどんな視点で平和を考えるのか、原爆の悲惨な現実を知り、どんなことを思うのか、という視点を持って参加しました。原爆ドームから平和記念資料館を見学し、平和について学びを深めました。記念公園内には、子どもをテーマにした建造物も多くあり、中学生の皆さんも戦争の恐ろしさ、悲しさを感じたのではないかと思います。式典への参加も、貴重な経験として、胸に残ったと思います。今回の事業で学んだこと、感じたことを今後の人生において大切に残していただきたいと思います。

神戸 美乃里さん (総合経営学科4年)

平和記念式典参加事業に参加して驚いたことは中学生たちの学ぶ姿勢です。資料館には焼けたお弁当箱や燃えた衣服のような物品展示もあれば、目を覆いたくなるような記録の展示もありました。そういった展示に関しても、目を背けることなく向き合っていました。当時小中学生だった人の写真も展示されており、それらを見ることで原爆の被害を我が事のように感じ、原爆による被害の大きさや、戦争そのものの凄惨さを真摯な姿勢で捉えていました。今後も戦争や平和について考える機会を大切にしたいと思います。

長谷川 早紀さん (観光ホスピタリティ学科3年)

中学生の皆さんと一緒に、平和について考え、広島平和記念式典に参加できたことはとても嬉しく、自分自身の学びにも繋げることができました。学習会を通して「アメリカ側から見た原爆投下」という着眼点から資料館を見学し、なぜ原爆投下の場所を広島にしたのか、開発事情や、アメリカ側の視点から原爆投下に至った経緯を深く学ぶことができました。また、被爆体験講話でのお話が印象に残りました。生々しく耳をふさぎたくなる内容もありましたが、話された内容は事実であり、私たちは受け止めなければなりません。戦争の悲惨さ、平和の尊さを多くの人に共有していきたいと思っています。



紺野美沙子さんの協力を得て、“平和朗読会”を開催 平和の大切さを考える機会に

平和創造研究会 担当教員 尻無浜 博幸

12月2日、学生サークルの「松本大学平和創造研究会」は、俳優の紺野美沙子さんの全面的な協力を得て、本学5号館で“平和朗読会”を開催しました。当日は150名程の参加者があり、平和の大切さを考える又とない素晴らしい機会になりました。

演目は、2010年より紺野さんが主宰されている朗読と様々なジャンルのアートを組み合わせた舞台芸術「朗読座」の新作で、絵本「星は見ている～原爆でわが子を亡くした父母らの手記より～」をオリジナル映像とともに紺野さん自ら朗読してくださいました。

当時、中学一年生だった藤野博久くんは原爆投下の前夜、星空の下でお母さんのとせえさんに語ります。「戦争は止めてほしい、戦争というものはこの地球上からなくしてほしい」。この少年の言葉を、そして母の思いを世界中の人たちに知ってほしいという願いを伝えてくださいました。

同研究会は、「若者による平和の学びとその発信」の実現を図るべく、これまで様々な活動を行ってきています。現在、ウクライナ、パレスチナと世界中で紛争が起こっている今だからこそ、学生が「平和の大切さ」を考



える機会になればと思っています。

今回の紺野美沙子さんのご協力に心から感謝するとともに、学生からはこの開催を通じて、今後のさらなる活動のあり方についてヒントを得たとの感想がありました。



これまでの主な取り組み

- 2021年 5月** 菅谷昭学長と学生有志が平和について学ぶ勉強会をスタート
- 9月** AR(拡張現実コンピュータプログラム)による平和アートイベントアプリ制作
- 10月** 鹿児島県の知覧特攻平和館を訪問
- 11月** 学友会主催の「平和を考える会」を開催
- 2022年 4月** 平和について考えるサークル「平和創造研究会」を設立
- 5月** ポーランドで避難民を支援している坂本龍太郎氏(千曲市出身)とオンラインによる活動報告と勉強会を開催
- 6月** 県原爆被害者の会による講演会を実施
- 8月** 長野県健康福祉部地域福祉主催「平和のバトンをつないでいこう～学びと発信から考える平和学習会～」にて平和創造研究会の活動を発表
- 9月** 松本市上土商店街振興組合・地域づくり考房「ゆめ」・平和創造研究会で平和を考えるイベントを開催(ウクライナ人道支援金の募金箱を設置し、難民支援活動を続けている坂本さんへ送金)
ウクライナボリスチまつりin朝日村の対談会に研究会のメンバーが参加

菅谷学長、伊那弥生ヶ丘高校の生徒に人権の大切さを語る

10月5日、伊那文化会館で伊那弥生ヶ丘高校の全校生徒約630名を対象に菅谷昭学長が講演を行いました。本講演は、生徒の人権平和学習と高大



接続事業の一環として企画され、菅谷学長がチェルノブイリ原子力発電所の原発事故における被ばくした人々への医療支援にあたった経験から人権の大切さについて語りました。また、本学の平和教育の取り組みについても紹介し、講演後の質疑応答では高校生から多くの質問が寄せられました。

本学では、平和創造研究会によるサークル活動の取り組みだけでなく、大学生を中心とする若者世代が平和について関心をもってもらうため、毎年、学部・短大の1年生に対して菅谷学長が講義を実施しており、過去を知り平和の尊さを考える貴重な機会となっています。

健康ライフの知恵を増やそう!

「第2回 松本大学健康首都会議」を開催

～延べ900名が多彩な講座から健康づくりの知識を学ぶ～

地域力創造委員会事務局・地域連携課 課長 塩原 忠

「松本大学健康首都会議」(本学主催、市民タイムス・長野朝日放送共催、㈱日本広告事務局)は、この地域の健康づくりの中心を松本大学と捉え、周辺地域と一体となって地域住民の6つの健康「①人 ②生活 ③地域 ④環境 ⑤産業 ⑥教育・芸術」と地方創生・地域貢献を目指す地域住民の参加型講座として、

11月11日、12日の2日間にわたり本学を会場に開催しました。

第1回目となる昨年度は、7コース全27講座を設定したところ、予想を上回る延べ1,200名を超える地域の方々を受講され、需要や関心の高さがうかがえたことから、引き続きの第2回目の開催となりました。まず

第1日目の午前中に基調講演として、京都ヘルメス研究所所長・京都大学名誉教授・医学博士である山中康裕氏をお招きし、「健康の魂学(ソウロロギー)」と題した貴重なお話をうかがいました。その後2日間にわたり、本学教職員・学生、また、地域の健康づくり企業・団体にご協力をいただき、今回のテーマ「健康ライフの知恵

を増やそう!～さらなる脳活・筋活・骨活・腸活に向けて～」に合わせた全31講座を開講しました。参加者の多くは複数の講座を続けて受講されており、地域の方々の健康への関心や向上心の高さをあらためて実感する2日間となりました。

また、企業・団体による健康関連ブースとして、大塚製薬株式会社、株式会社ナガノマト、株式会社アコース、株式会社池の平ホテル&リゾートに出展いただき、講義の合間に健康関連商品の説明に耳を傾けたり、商品の購入など、それぞれのブースも盛況でした。また、昨年に引き続き、本学の管理栄養士が監修した手作りの「健康弁当」は両日とも売り切れとなり、大盛況のうち無事に終了しました。

ご来場いただきました参加者の皆さま、開催にあたりご協力いただきました関係者の皆さまには、この場をお借りしまして厚く御礼申し上げます。



基調講演

「健康の魂学(ソウロロギー)」 山中康裕先生をお迎えして

地域力創造委員会 委員長 齊藤 茂

第1日目の基調講演に、京都大学名誉教授・京都ヘルメス研究所長の山中康裕先生にお越しいただきました。山中先生のお話を聞いた後には、なぜか毎回、エネルギーが湧いてくるのです。

講演タイトルは、「健康の魂学(ソウロロギー)」。ソウロロギー(Soulologie)とは、「魂(たましい)」をあらわす「ソウル(soul)」と、学問をあらわすギリシャ語の「ロゴス」から発するドイツ語の「ロギー(logie)」を組み合わせた山中先生オリジナルの造語です。自らの健康を顧みずに82歳となった今でも臨床の道を歩んでおられる先生が語る「健康」の話を、私も予てから拝聴したいと願っており、それが実現しました。

期待通り、いわゆる健康ではなく、いわば健康の土台についての話でした。現在の世界や日本社会の憂うべき状況の中で、教育や文化の将来はどうあるべきか、例えば、将来に夢を持ってない日本の子どもたちの健康について真剣に考えるのであれば、そ



の深層にある「子どもたちの将来をしっかりと見据えた教育」といった課題にこそ取り組まねばならないと先生は訴えます。考えてみれば、子どもたちを取り巻く社会の在り様と、不登校や無気力化、スマホやゲーム依存、また少子化といった問題までもが無関係なわけがありません。そして、このような社会を作ったのは、私たち大人であることにも気づかされました。

こうした気づきを与え、刺激し、深い部分を動かすのが山中先生の魂話であり、きっと私の中から湧いてくるエネルギーの源なのだろうと考えていました。

運動で脳を活性化



講師：松商短期大学部 商学科
川島 均 教授

骨コツ貯めよう『きん(筋肉)』のお話



講師：一般社団法人MOSC・百瀬整形外科スポーツクリニック
百瀬 能成 医師

豊かな未来社会を目指して仮想世界の
ポジティブな活用を考える



講師：大学院総合経営研究科・総合経営学科
室谷 心 教授

個人の体力にあった健康づくりを
高原のレイクリゾートから考える



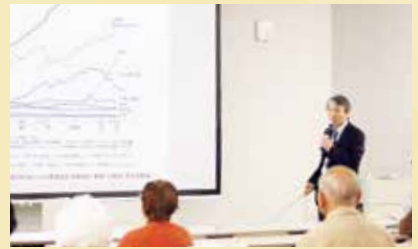
講師：株式会社池の平ホテル&リゾート
健康運動指導士 中野 豪さん

無理なくできる中高年者のための
筋トレ実践講座



講師：スポーツ健康学科
根本ゼミの学生

防ごう!高齢者の3大不慮の事故死
～浴槽溺水、平面転倒、食物窒息～



講師：大学院健康科学研究科・健康栄養学科
青木 雄次 教授

池の平ホテルで月に2回、
ウォーキング講座を実施!



池の平ホテル施設内の“いきいきヘルスアップスタジオ”では、月に2回、根本賢一教授(大学院健康科学研究科・スポーツ健康学科)が講師を務めるウォーキング講座を実施しており、ゼミ生もサポート役として参加者に健康指導を行っています。また、健康運動指導士の資格を持つ本学卒業生も社員として常駐し、科学的根拠に基づいた健康づくりに寄与しています。詳細は池の平ホテルのHPをご覧ください。

地域健康支援ステーションの講座から
～災害時の備え「ポリバック調理」～



ポリバック調理とは耐熱性のポリ袋に食材を入れ、調味料や水を加えて袋ごとポイルする調理方法のことです。袋が真空に近い状態となることで、食材のうま味を逃がさず栄養素の流失を防ぎ、温かい食事から栄養を摂取することができます。今回は災害時を想定し、卓上ガスコンロを使用して、グループごとにくいつかのレシピを実際に作ってみました。当日の参加者からは「とても楽しかった」「この調理法は初めて知った。いい経験になった」等、沢山の感想をお寄せいただきました。

栄養バランスが偏ると免疫力・体力ともに低下します。いざという時のために、日頃から備蓄を心がけるとともに、災害時にも心と体に健康的な食事が出来るよう、「ポリバック調理」の知識も備えの1つとなれば幸いです。
(地域健康支援ステーション 管理栄養士 長沼 伊穂子)

教育研究の知見を地域に還元

本学では、地域で実施される各種講演会やセミナーなどに、講師・パネラーとして教員を派遣しています。また、高校生や中学生には、学問に対するの興味や関心を持ち、進路選択の参考としていただけるよう出前講座を実施しています。ご希望のテーマや内容にあわせて実施しますのでお気軽にお問い合わせください。

お問合せ・申込みについて

詳しくはこちらをご覧ください▼

【各種団体の方】

松本大学エクステンションセンター
(0263-48-7210)

【高等学校関係の方】

松本大学入試広報室
(0263-48-7201)



新村公民館にて健康講座

「カラダを鍛えてフレイル予防!～筋肉の観点からフレイル予防について学ぶ～」

10月24日、新村公民館にて地域の方を対象に健康講座が開催され、講話を河野史倫教授(大学院健康科学研究科・スポーツ健康学科)が、実技を山本薫准教授(スポーツ健康学科)が講師を務めました。講話では、参加した皆さん熱心にメモをとっている様子で、特に寝たきりの実験結果から筋萎縮の度合いを示したグラフには、皆さん関心を寄せていました。実技では、日常生活に取り入れられる簡単な運動プログラムを山本ゼミの学生と一緒に実践しました。無理なく持続的に取り組んで、健康維持につなげていただければと思います。



地域連携活動

最近の活動から

松本地域8市村の首長に学生考案の周遊プランを発表 地域課題を多角的に捉える重要性を再認識

総合経営学科1年生の基礎ゼミ(田中クラス、岡崎クラス)では、これまで松本広域連合と連携し、より多くの旅行者にこの地域の魅力を知ってもらい、地域社会経済の成長に繋がるような域内周遊プランの作成を進めてきました。8月10日に広域連合庁舎で開かれた中間報告を経て、10月27日には8市村(松本市・塩尻市・安曇野市・山形村・朝日村・生坂村・筑北村・麻績村)の首長に対して、

最終の成果報告となるプレゼンテーションを行いました。

構造的な人口減少問題に伴う社会経済の衰退や、コロナ禍による訪問客の急減など、域内では多くの課題が顕出する中で、教員と広域連合職員が学生と共に情報収集や実地調査を行い、様々な事業者からの現場の声も聞きながら、魅力ある資源の掘り起こしやPRの方策等を模索してき



ました。こうした地道な活動を基礎に域内周遊プランを作成し、最終のプレゼンでは地元の首長から多くの貴重な意見も頂き、厳しい現況に対する危機感を共有する中で、地域課題をより深く且つより多角的に捉える視点の重要性を再認識しました。

作成した周遊プランについては、今後広域連合が各方面に配布する観光パンフレットに反映される予定となっていますが、事業に携わった学生にとっては極めて貴重な経験となりました。引き続き、地域の地域社会に多大な貢献が果たせるよう、教員・学生一同尽力していきたいと思えます。

(総合経営学科 専任講師 岡崎 滋樹)



JAあづみの周年記念企画にマーケティングを学ぶ金子ゼミが参加しイベントを盛り上げ

10月1日、JAあづみ創立60周年記念企画第1弾が安曇野スイス村で開催されたオープニングイベントに短期大学部金子ゼミの学生が参加しました。盛りだくさんの催しで、お客様もたくさん!学生は、旬の野菜や果物の販売、プレゼント企画や“ぬかくど米”で作ったおにぎりをお配りするお手伝い、新米食べ比べや学生企画の「新米目方でドーン!」の運営など、イベントをおおいに盛り上げました。

さらに、2カ月にわたる記念企画の最後をかざるイベント、りんご祭りが11月26日に開催され、これを盛り上げるため、金子ゼミの学生がりんごのスイーツをふるまうことになり、最終日のイベントにも参加しました。この日のために、おいしいりんごのスイーツをみんなで考え、その場でささっと作ってお配りするためにはどうすればいいかと準備を進めました。

当日は「アップルランブル」を100、「り

んごのサンドイッチ」を150ほどお配りしました。ありがたいことに好評で、あっという間にスイーツがお客様のお腹に収まりました。お客様に喜んでいただいたことが、学生にとっては一番うれしいこと。みんなで頑張ったごほうびになりました。初めての活動に戸惑いつつも、お客様との交流を楽しむことができ、またマーケティングを実践的に学ぶ良い機会となりました。

(松商短期大学部商学科 教授 金子 能呼)



読売旅行との連携事業によるバスツアーが催行 発案からすべての過程を学生が手掛ける

5月より読売旅行との産学連携企画を進めてきましたが、去る10月27日に学生発案の日帰りバスツアー「松本大学生との共同特別企画!おもてなしが詰まった秋の安曇野・松本堪能!」が、一般募集人員を満たして、見事に実施されました。長野県発着で、長野県を目的地としたマイクロツーリズムのバスツアーという新しい試みで、最終的には最低催行人数を上回る15名の参加となりました。

碌山美術館の紅葉はちょうどピークを迎えていました。同美術館では学芸員の解説が付き、学生は入場せず添乗員としての安全管理やご案内、誘導の視点を教えていただきました。その後、そば処せきやで昼食のご案内。せきやでは繁忙期に関わらず、この日のための特別メニューを提供していただきました。再乗車後、学生はバス内で交代しながら次の目的地の見どころを解説しました。Vif穂高と八面大王の足湯で、松本平

を一望しながら紅葉と温泉を楽しみました。

安曇野ワイナリーでは製造の解説に加え、ヨーグルトやワインの試飲も楽しみました。さて、このツアーのクライマックスは松本市街地の散策です。学生らがこの日のために手作りで作り込んできた散策MAPを参加者にお渡しし、企画メンバーを中心とした8名の学生が要所に分かれてご案内しました。ここまでの行程で、年上のお客様とコミュニケーションを取ることを心掛けてきた学生たち。最後の散策では、とてもスムーズに自らのおススメポイントについてお伝えすることができました。

ツアーを企画した学生からは、「実際に自分が携わったものが商品になるということが初めてだったので不安が大きかったが、お客様に喜んでもらえてよかった。」「参加者の方々から「とても楽しかった」との言葉をもらったとき、このツアーの企画、催行に携わることが出来て本当に良かったと思いまし



た。」と感想の声寄せられ、大変充実した学びの機会となりました。

5月の講義から、6、7月のワークショップ&コンペ、読売旅行のプロフェッショナルの手配販売を経て、一つのツアーがこうして完成しました。発案から実施に至る全ての過程を学習できたことは、学生と担当教員にとっても大変有意義な時間でした。

この様子は当日のテレビ信州でも放映され、また翌日の読売新聞の記事に掲載されました。この場をお借りして、これまでのすべての関係者の皆様に、深く御礼申し上げます。

(観光ホスピタリティ学科 准教授 中澤 朋代・専任講師 田開 寛太郎・専任講師 丸山 宗治)



地域づくり考房「ゆめ」

学生と地域の方々の交流イベント 「上土で映画を楽しむ会」を開催

地域づくり考房「ゆめ」では11月25日、学生と地域の方々の交流イベントである「上土で映画を楽しむ会」を開催しました。「上土劇場」で行われた映画「バック・トゥー・ザ・フューチャー」の上映には約70名近くの市民の方々が集まり、鑑賞後はラジオDJをされている志田一穂さんといっしょに学生がトークイベントを行いました。また当日は、「上土ふれあいホール」を借りて学生が整理した旧映画館に残された映画ポスターや、古い松本の街並みを撮影した懐かしい写真を展示し、学生と住民で行う「茶房ひといき」も一日限定でオープンしました。かつて映画の街として栄えた上土において地域の方々と映画を通じて交流をすることで、これからの街づくりについて語り合うなど、貴重な時間を過ごすことができました。参加した学生は地域の人た



ちの想いや地域資源の大切さを知ることができ、これからも若らしい発想とアイデアで地域活動に意欲的に取り組んでくれることを期待します。

(地域づくり考房「ゆめ」専門員 大野 整)

現場で学びを深める貴重な機会 松商短大のアウトキャンパスデイを実施

松商短期大学部商学科 教授 金子 能呼

12月4日は教室を飛び出し、現場で学ぶアウトキャンパスデイが実施されました。廣瀬ゼミナールは、より多くの人々が安心して歩ける空間に発展するためにはどうしたらよいかという視点で、松本城から松本駅に向かって調査を行い、まとめとしてグループで意見交換を行いました。目的意識を持って町を見つめなおすことにより、いくつかの発見があり、学びを深めることができました。

その他、授業やゼミナールで県内外の目的地に向かい、研修を受けたり、そこで仕事をする人からお話をお聴きしたり、五感を使って体験したりと、バラエティに富んだアウトキャンパスデイでした。貴重な勉強の機会を得ることができ、それぞれ充実した1日になりました。



【廣瀬ゼミ】
一般社団法人まつもとユニバーサルデザイン研究会の方とまちなかUD探訪



【ブライダルフィールド】
軽井沢プリンスホテル・ヴィーナスコート佐久平から地域のブライダル業界の現状を学ぶ



【サービス・マーケティング】
コストコからマーケティングの4P(商品、価格、流通、販売促進)をリサーチ

| | |
|--------------|-----------------------|
| 廣瀬ゼミ | 松本市内 |
| 糸井ゼミ | 日本銀行松本支店 |
| 飯塚ゼミ | 日清カップヌードルミュージアム |
| 中山ゼミ | 横浜大世界／Costco座間倉庫 |
| 山添ゼミ・木下ゼミ | 東京ディズニーランド |
| ブライダルフィールド | 軽井沢プリンスホテル／ビーナスコート佐久平 |
| サービス・マーケティング | 土岐アウトレット／Costco岐阜羽島倉庫 |

「がんを知る教室」にて 学生が子宮頸がんの予防・啓発活動を実施

スポーツ健康学科 准教授 中島 節子

長野県のがんと向き合う週間イベントに合わせ「がんを知る教室」が10月15日、イ

オンモール佐久平で開催されました。若い世代の罹患が多い、子宮頸がん検診受診や予防について呼びかけました。ゼミ活動で3、4年生が作成した子宮頸がんに関するパネル展示と啓発動画掲載ページへ接続する二次元バーコードをプリントしたウェットティッシュを配布しました。

県の方も同世代の人からの配信はより信憑性が

高いと評価していただきました。長野朝日放送の取材、活動についてのアンケートの実施、アルクマやアフラックのキャラクターとの記念撮影など様々な経験ができた1日でした。今回の活動が、若者のがん予防につながることを願っています。



「乗鞍高原信州酒フェスタ」 乗鞍高原おかみさん組合と協働で イベントは大成功！

観光ホスピタリティ学科 教授 益山 代利子

11月18日に乗鞍高原観光センターにて「乗鞍高原信州酒フェスタ」が開催され、観光ホスピタリティ学科の益山ゼミ3年生15名が運営スタッフとして参加しました。今回で3回目の参加となりますが、企画から主催者の乗鞍高原おかみさん組合の皆さんと関わり、



会場や施設準備、イベントのプログラム作り、アンケート集計などを実施しました。

今年特にこだわったのは、男子学生による手作りの「顔出しパネル」です。乗鞍高原の特徴を表



現した自信作には制作に2週間かかりました。また、もう一つのこだわりは、スマートフォンからイベントプログラムのQRコードを読み取ること、長野県産の日本酒の特徴、おかみさんらの手作り料理の説明、スタッフの紹介など、デジタルでの情報提供を実施したことです。更に、益山ゼミの卒業生を含む和太鼓グループ「御影」の演奏なども会場を盛り上げ、アンコールの曲目では信濃の国を披露しました。

全国各地から来訪された総勢180人のお客様が参加したこのイベントのアンケートでは、満足度も高く、再訪意向も大変高い結果となりました。おもてなしゼミ所属学生の意欲の高さ、新しい企画へのチャレンジ、乗鞍高原おかみさん組合の皆さんとの協働など、大成功のイベントとなりました。



一流シェフが腕を振るった 「松本城Delicious Journeys in Matsumoto」 益山ゼミの学生が裏方スタッフとして参加

10月16日、17日に開催された株式会社扉ホールディングス主催の「Relais & Chateau Delicious Journeys in Matsumoto」のイベントの舞台裏でも益山ゼミの学生が活躍しました。こちらは、ディナーチケットが一人様10万円という高級イベントで、全国一流シェフが腕を振るい、国宝松本城本丸庭園の特設会場を提供する至高のディナーとなりました。我々おもてなしゼミでは、裏方として17日の午後から会場の設営準備、黒門までのお客様のご案内、食後の後片付けや設備

の撤収作業などを担当しました。

普段、目にする事のないような高級料理や長野県産の食材等々、特別なイベントの裏側での仕事に携わることができ、参加した学生らの気持ちも高揚しました。また、会場の調理用テントで盛り付けをしている様子も見学させていただき、雰囲気の一部を味わうことも出来ました。国宝松本城の敷地を活かした素晴らしいイベントの裏方の経験をさせていただきましたことに感謝申し上げます。

長野県松本ろう学校の文化祭「はと祭」に参加

10月7日に聴覚障害児教育総論の授業で、松本ろう学校の文化祭「はと祭」に参加してきました。午前中に各部のステージ発表を参観した後、午後は「おまつり広場」のアトラクションの運営をしました。これは在籍者の減少に悩むろう学校からの依頼で行ったもので、運営を任された学生たちは、事前にろう学校の先生から聴覚障害やろう学校の

生活についてお話をお聞きし、その上で企画準備を進めてきました。文化祭当日はたくさんの幼児・児童・生徒、保護者が来場され、7種類のアトラクションを順に楽しんでいました。学生達にとっては幼稚部から高等部までの子供の成長を直に見たり、聴覚障害児者とのコミュニケーションを実地に経験したりする貴重な機会となりました。

教育学部教職支援室 専門員 矢野口 仁



どの色まで届くかな？

過去最多の21名が 「国内旅行業務取扱管理者試験」に合格！ 難関の「総合」でも1名が見事合格！

観光ホスピタリティ学科 専任講師 田開 寛太郎

観光ホスピタリティ学科では、旅行業務取扱管理者に必要な国家資格の試験対策を行っています。旅行会社の各営業所に最低1名はこの資格を持っている人が必要となるため、旅行業界での需要は高いといえます。

9月3日に行われた「国内旅行業務取扱管理者試験」において、本学科の学生21名が合

格、また、12月13日行われた「総合旅行業務取扱管理者試験」において、1名合格しました。

全国の合格率をみると、国内35.7%、総合26.5%(約款・海外旅行実務の2科目受験)と、決して易しい試験ではありません。前期授業から試験当日まで、旅行業法、約款、実務などの分野における授業や補習を受け



ながら、試験に向けてコツコツ努力を重ね、多くの学生が合格できたことをうれしく思います。残念ながら不合格だった学生は、ぜひ再チャレンジしてほしいと思っています。合格へのサポートだけでなく、一人でも多くの学生が観光に興味を持ってもらえるよう今後も全力で努めます。

教育系YouTuber 葉一さんによる特別講義を実施 教育の魅力について語る

学校教育学科 専任講師 上月 康弘

11月2日、教育系YouTuberとして活躍する葉一さんをお招きし、教育学部ならびに教職履修者を対象とした特別講義を行いました。もともと教師という存在が嫌いだった葉一さんは、高校で恩師に出会い、「教育」に携わろうと決意したそうです。その後、東京学芸大学に進



学し、教育実習中での子どもとの出会いや、YouTubeチャンネル開設後、視聴者の母親から送られた一通のメールについてなど、ご自身の経験を通して、「教育の魅力」とは何かについて語っていただきました。

その後、学生との鼎談では、代表学生だけではなくフロアからも多くの質問が飛び交いました。葉一さんは、ご自身の経験をもとに、全ての質問に対して的確に答えてくださいました。学生との鼎談を通して、「教育」の面白さ、大変さ、そして大変だからこそ面白い、そんな魅力が共有されたように思います。今回の講義を通し、それぞれの考えや感じたことを大切に、自分の生き方に役立ててほしいと思います。



松商短期大学の保護者就職説明会を開催 就職活動に高い関心が寄せられる

全学就職委員会松商短期大学部 主任 飯塚 徹

11月25日に、松商短期大学部1年生の保護者を対象とした保護者就職説明会を開催し、46家庭61名の方に参加いただきました。

私から、本学の就職支援体制、来年度の就職活動についてなどの話をしました。そのなかで、保護者の皆様に向けて金銭面での支援



(交通費、スーツなど)、心理的なサポート(相談相手、ストレス緩和など)がとても重要であることを話させていただきました。その後、キャリアセンターから、就職活動の実態、キャリアセンターの支援内容などの説明を行いました。そして、最も盛り上がったのが、短大2年生による就職活動体験報告です。学生からは「親からのアドバイスが参考になった」「就職活動は辛かったが達成感があった」「私たちの体験報告を参考にしてほしい」などの体験談がありました。その後、個別相談にうつり、ゼミ担当教員との個別相談会を実施しました。全体を通して、来年度の就職活動に役立てていただけると幸いです。

なお、学部は、3年生の保護者を対象に6月17日に開催し、94家庭125名の方にご参加いただきました。

速報

2023年度
(2024年度採用)

教員採用試験 合格状況

2023年度(2024年度採用)教員採用試験の合格状況について、総合経営学部2名、人間健康学部2名、教育学部23名(延べ25名)が合格しました。

また、卒業生では総合経営学部1名、人間健康学部9名、教育学部13名の計23名の方から嬉しい合格の報告がありました。

[教育学部]

■ 現役生

| 自治体 | 校種 | 教科等 | 合格者数 |
|------|--------|-----|------|
| 長野県 | 小学校 | | 7 |
| | 中学校 | 英語 | 1 |
| | 特別支援学校 | | 2 |
| 山梨県 | 小学校 | | 2 |
| 新潟県 | 小学校 | | 4 |
| 石川県 | 小学校 | | 1 |
| 埼玉県 | 小学校 | | 3 |
| 神奈川県 | 小学校 | | 2 |
| 栃木県 | 小学校 | | 1 |
| 東京都 | 小学校 | | 1 |
| 私立 | 小学校 | | 1 |

■ 卒業生

| 自治体 | 校種 | 教科等 | 合格者数 |
|-----|--------|-----|------|
| 長野県 | 小学校 | | 7 |
| | 中学校 | 英語 | 1 |
| | | 技術 | 1 |
| | 特別支援学校 | | 2 |
| 新潟県 | 小学校 | | 2 |

[総合経営学部]

■ 現役生

| 自治体 | 校種 | 教科等 | 合格者数 |
|-----|-----|-----|------|
| 長野県 | 小学校 | | 1 |
| 北海道 | 小学校 | | 1 |

[人間健康学部]

■ 現役生

| 自治体 | 校種 | 教科等 | 合格者数 |
|-----|-----|------|------|
| 長野県 | | 養護教諭 | 1 |
| 北海道 | 小学校 | | 1 |

■ 卒業生

| 自治体 | 校種 | 教科等 | 合格者数 |
|-----|--------|------|------|
| 長野県 | 小学校 | | 2 |
| | 高等学校 | 保健体育 | 1 |
| | | 養護教諭 | 1 |
| | 特別支援学校 | | 2 |
| 東京都 | 特別支援学校 | | 1 |
| 山梨県 | 小学校 | | 1 |
| 静岡県 | | 養護教諭 | 1 |
| 愛知県 | | 養護教諭 | 1 |

教員を目指す後輩たちへ

教育学部4年生による教員採用試験報告会を実施

学校教育学科 准教授 松原 好広

11月14日、教育学部4年生による教員採用試験の報告会が実施されました。4年生18名と1年生から3年生の54名の合計72名の学生が参加しました。

全体会では、代表学生4名が試験の対策方法や各自の取り組みについて報告しました。その後、7つの分科会に分かれ質疑応答を行いました。各分科会では、具体的な質問が飛び交い、4年生たちも丁寧に説明してくれました。教員を目指す1年生から3年生にとって、採用試験の具体的な内容を知る貴重な機会となりました。



当日の分科会の様子

卒業生が教え子をつれて、 Coder Dojoに里帰り参加

総合経営学科 教授 室谷 心

松本大学では、Scratchなどのプログラミングの自主トレーニング道場である「Coder Dojo松本大学」を毎月開催しています。10月29日に開催された10月の例会に、現在、高等学校商業科の教諭として長野県諏訪実業高等学校で教鞭をとる山内菜美加さんが、総合ビジネス部で情報を学んでいる生徒2人を連れて、参加してくれました。

プログラミングを学びたい人(Ninja)が集まり、ボランティアの師匠(Mentor)のもとで自由に修行するCoder Dojoは世界中で開かれている、プログラミングの自主研鑽の場です。山内さんはCoder Dojo松本を松本大学

に誘致した時の立ち上げ学生メンターでした。

山内先生のクラスで情報科学の初歩やスクラッチをすでに学んでいる2人は、手慣れた様子でプリントのインベーダゲームのプログラムを組み、さらに独自の改良を加えています。参加者の作品発表の時間には、作ったゲームを子供たちに使わせてあげて大いに「うけて」いました。この他に、本Coder Dojo松本大学の濱田チャンピオン(Dojo主)が用意してくれたVRゴーグルを使ったバーチャルワールドのゲームや会議システムを体験しました。次回は山内先生同様にメンターとして参加してくれることを楽しみにしています。



プログラム作成を指導する山内先生



VRゴーグルを使ったバーチャルワールド体験中

アルピコHDと包括連携協定を締結 広範囲で相互に協力し、地域の発展・人材育成をめざす

アルピコホールディングス株式会社と松本大学・松本大学松商短期大学部は、双方の資源を有効に活用し教育や学術、産業等の分野で相互に協力し、地域の発展、人材の育成に向け、連携・協力体制の構築を図るため、11月13日に包括的連携協定を締結しました。

これまで、同社と本学は、長年にわたり相互の協力関係を築いてきました。松本大学の開学にあたっては、アルピコ交通上高地線の「北新駅」から「北新・松本大学前」への駅名の改称や、コロナ禍においては、感染症対策として、本学と松本駅間の上下線の

直行バスを運行していただきました。現在も、駅周辺環境整備協議会を学内で立ち上げ、アルピコ交通の方にも入っていただきながら、本学の最寄り駅である「北新・松本大学前駅」駅舎周辺を含めた整備や混雑時間帯の改札対策等による、環境改善に取り組んでいます。

今後ますます複雑多様化していく地域課題に対応していくため、この度の連携協定を機に交流を深め、大学に集積されている知恵や学生の感性



を地域に生かし、活性化に向けて協力していきます。

県内金融機関に関する県民意識調査の結果速報を発表 ～地域経済の持続的な発展に結び付く円滑な合併の実現に役立てて～

松商短期大学部経営情報学科 教授 飯塚 徹

10月19日、「長野県内金融機関に関する県民意識調査」に関する記者会見を学内で開催しました。本調査は、浜崎央教授、上田敬専任講師との共同研究で、本学の研究助成を受けて行ったものです。調査内容は、(1)メインバンクとの関係(2)地域金融機関

の展望(3)八十二銀行と長野銀行との経営統合について調査し、840名に回答いただきました。本調査では、特に八十二銀行と長野銀行の経営統合・合併について、県民の期待、不安、知りたいことなどを明らかにしました。県民が安心でき、地域経済の持続的な

発展に結び付く、円滑な合併実現のお役に立ちたいと考えています。

発表した調査結果の速報においては、「半数以上はほとんど窓口を利用していない」「金融リテラシーの高い人は、投資信託の購入割合およびインターネットバンキングの利用割合が有意に高い」「両行の合併について、最も知りたい情報は、店舗・ATMの統廃合について」などを報告しました。それを受けての記者質問では、質問は両行の合併に関する内容に集中しました。「合併をどのように進めて行けば良いと思いますか」など核心を突く質問も多く、予定時間を超えて終了しました。

記者会見では調査結果の速報を用いましたが、調査結果の全容は、学内発行の研究紀要第22号(2024年3月)に掲載する予定です。



▶ 公務員採用試験結果速報 (2023年12月8日現在)

松本市役所2名、安曇野市役所1名、上田市役所1名、駒ヶ根市役所1名、飯田市役所1名、木曾町役場2名、山形村役場1名、坂城町役場1名、鳴沢村役場1名、高山村役場1名(管理栄養士)、軽井沢町役場1名、長野県警察4名、自衛隊1名、国立大学法人等職員1名



5年ぶりの一般公開でキャンパスに賑わい 第57回「梓乃森祭」を開催

全学学生委員会 委員長 佐藤 茂太郎



10月14日、15日の2日間で、第57回目となる「梓乃森祭」を開催しました。今年度のテーマは「Pop corn(ポップコーン)」。このテーマは、これまで我慢してきた気持ちを弾けさせようといった学生の思いを表現するために決めました。ここ数年コロナ禍で思い通りの催しができない環境でしたが、今年度は一般公開を行い、5年前と同じような形で有意義な大学祭にしようと考えたところからのスタートでした。

学祭局の学生を中心に、数か月前から準備に取り掛かり当日を迎えました。コロナ禍においては一般公開が無かったため、過去の引継ぎが充分に行っておらず、学祭局はもちろんのこと、教職員も過去の取り組みなどを確認しながら進めていき、何とか無事に成功を収めることができました。

このプロセスにおいて、学生が多くを学び取っている姿を間近で見て、改めて大学祭も教育の一環であるという印象を受けました。また、



参加していただいた地域の皆様のご理解とご協力があったの大学祭成功になったことを忘れることなく、次年度以降もより一層発展させていきたいと思っております。



学友会イベント

学生らしい自由な発想と行動が花開く 学友会活動が活発に!

2023年度の学友会活動は、これまでのコロナ禍のうっ憤を晴らすように積極的に活動を続けてきました。前述の無制限下、ポップコーンのように弾けて楽しんだ第57回梓乃森祭。七夕やハロウィンに代表される季節行事も取りこぼしなく実施しました。そして、9月に開催された第2回となる三大学学生交流課題研究会議では、3大学中最大の人数で札幌に乗り込み、全力で研究や交流に臨みました。

現在の学友会役員の方々は、数年に及ぶコロナ禍のため停滞期を粘り強く乗り越え、自分たちで活路を切り開いてきたメンバー達です。直近の11月に実施した焼き芋大会では、ここ数年で最大数のさつま

芋を用意し、学友会役員たちは熱や煙にまみれて汗だくで準備をしていました。招待した新村保育園の園児たちからの「ありがとうございます!」は、焼き芋以上に皆の心を温めたのではないのでしょうか。

新しい行事にも積極的に取り組んでいます。好評だったキッチンカー企画は今後も不定期で継続開催を予定しており、年明けにはスキー・スノボ企画も計画するなど、まだまだ学生達の意欲は止まりません。リスタートを歩み始めた学友会学生たちを、ぜひ応援してほしいと思います。

(学生課 係長 松島 大樹)



焼き芋ができるまで園児たちと交流



おにぎりを買って求めてキッチンカーに長蛇の列

留学情報を収集しよう! 留学フェアを実施

10月14日、大学祭期間中に国際交流センター主催で「留学フェア」を実施し、留学体験をした学生6名が当時の写真を交えて発表しました。当日は教職員のほかに、留学に興味のある学生も参加しました。

- アペリストウィス大学 (イギリス)
- マルタ大学 (マルタ共和国)
- ニューカッスル大学 (オーストラリア)
- パルドゥビツェ大学 (チェコ共和国)
- 河北大学 (中国河北省)



その他、台湾の義守大学と醒吾科技大学から交換留学生による母校紹介や上田市教育委員会の方からの特別講義なども行われました。これから留学を考える学生にとっては詳しい情報を得る機会になりました。

いむら防災フェスティバルに学生も協力

10月29日、本学会場に「いむら防災フェスティバル」が開催されました。地域の方々の防災意識を高めようと初めて開催されたイベントで、「楽しく防災を学ぶ」をテーマに防災に関する各種体験コーナーが用意されました。防災士の資格取得をめざす本学学生有志もスタッフとして参加し、災害時に役立つ防災グッズ作りでは、子どもたちにポンチョや新聞紙スリッパの作り方、段ボールベッド



について説明をしました。イベントではその他にも、はしご車搭乗体験や防火衣の着用体験、大声競争などの体験ブースもあり、楽しみながら防災にかかわれる盛りだくさんな内容でした。

日本宇宙航空環境医学会大会で 大学院生の清水純也さんが、最優秀論文賞を受賞

11月に岐阜市内で開催された第69回日本宇宙航空環境医学会大会において、清水純也さん(大学院健康科学研究科 博士後期課程2年)が最優秀論文賞に選出され、受賞講演を行いました。運動した時の骨格筋がどう反応するかは人によって大きく異なりますが、この研究ではその個体差が作られるメカニズムが示唆されました。宇宙での長期滞在は極限的な運動不足状態となり、地上での寝たきりと似ています。個体差発生の仕組みを応用することで、寝たきりや要介護状態を改善できる運動方法や医療の開発につながるこ



とを期待します。

本件に対して、清水さんは「研究成果を高く評価していただき、大変光栄に思う。自らの研究が宇宙医学領域に貢献することとなり、嬉しい。今後有益な報告ができるよう、研究に精進していきたい。」と述べました。

受賞演題: Exercise-induced histone H3 trimethylation at lysine 27 facilitates the adaptation of skeletal muscle to exercise in mice
著者: Junya Shimizu, Fuminori Kawano

電子黒板(ELMO)が導入されました

833教室に「電子黒板(ELMO)」が導入されました。電子黒板は映し出された画面に直接書き込みができたり、画面を拡大して見せることができたりと様々な活用ができます。近年の学校現場では、ICTを活用した授業が展開されており、学生が教員になったときに役立つためでもあります。操作も簡単で、学生たちはすぐに慣れてい



活用していきたいと思っております。(学校教育学科 准教授 佐藤 茂太郎)

クラブ活動情報

スキー部

宮嶋林湖さん、地元企業2社とスポンサー契約

W杯参戦2季目となるノルディックスキー・ジャンプ女子の宮嶋林湖さん(スポーツ健康学科2年)が、株式会社オーチャード(「林檎の湯屋おぶ〜」を運営)及び株式会社情熱電力とスポンサー契約を結びました。宮嶋さんは初参戦した昨季のW杯第2戦で個人9位と世界のトップ10入りも果たしており、今季は全日本スキー連盟のAランク強化指定選手としてさらなる活躍が期待されています。

地元企業からの温かい援助により、安心して競技に没頭できるようになりました。山元秀一郎社長(オーチャード)、中嶋康介代表(情熱電力)ともに、彼女が本学を卒業する2026年度末(この年にミラノ・コルティナダランペツォ冬季五輪が開催されます!)まで応援をしていただけることになっており、「チームリング」で五



宮嶋さん(中央)のスポンサーとして支援いただく山元社長(右)と中嶋代表(左)

輪出場を目指していきます。欧州遠征中の宮嶋さんに代わり、この場をお借りして感謝を申し上げます。

(スキー部 部長 齊藤 茂)

硬式野球部

創部以来初の快挙! オータムカップ優勝!
来シーズンへの力に変えて

関甲新学生野球連盟1部秋季リーグ戦が終了し、4勝5敗、第5位という結果でした。春季リーグ戦からは順位を下げましたが、上位校とも対等以上に戦えた試合もあり、結果以上にチーム力の向上を感じたシーズンでした。リーグ戦後に開催された3年生以下の新チームで戦うオータムカップではブロック予選を勝ち抜き、代表トーナメントでは上武



大学を7-5の逆転勝ちで倒し優勝を果たしました。連盟の大会での優勝は創部以来初の快挙であり、安定した戦力が選手に備わってきたと感じます。

10月には「ろう者」野球日本代表チームと交流戦を行いました。耳が聞こえない、聞こえづらい状況で野球をすることは、とても難しい印象を持っていましたが、ろう者日本代表選手達の、試合中の状況確認やプレーヤー同士のアイコンタクト、プレーを行う前



のあらゆる準備を入念に行う姿に本学の選手も学ぶ事がとても多く、有難い交流の機会となりました。この1年間、リーグ戦や交流の場等、選手の各々が成長できる場面が多くありました。2024年は更に飛躍の年になるように精進して参ります。

(硬式野球部 監督 清野 友二)

■関甲新学生野球連盟 秋季1部リーグ戦勝敗表

※同率の場合は前季順位により決定

| 順位 | 大学名 | 上武大学 | 山梨学院 | 白鷲大学 | 平成国際 | 松本大学 | 新潟医療 | 作新学院 | 関東学園 | 新潟大学 | 常磐大学 | 勝 | 負 |
|----|------|-------|-------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-------|------|---|---|
| 1 | 上武大学 | ○4-3 | ○8-3 | ○3-0 | ○7-6 | ○12-2 | ○12-0 | ○9-0 | ○15-0 | ○8-1 | 9 | 0 | |
| 2 | 山梨学院 | ●3-4 | ○1-0 | ○12-1 | ○7-3 | ○5-1 | ○10-4 | ○8-0 | ○15-0 | ○11-0 | 8 | 1 | |
| 3 | 白鷲大学 | ●3-8 | ●0-1 | ○6-0 | ○4-0 | ○5-0 | ○10-0 | ○7-2 | ○15-3 | ○6-2 | 7 | 2 | |
| 4 | 平成国際 | ●0-3 | ●1-12 | ●0-6 | ○2-1 | ○6-1 | ○7-1 | ○3-0 | ○7-3 | ○6-0 | 6 | 3 | |
| 5 | 松本大学 | ●6-7 | ●3-7 | ●0-4 | ●1-2 | ○11-1 | ○4-3 | ●0-2 | ○7-3 | ○7-0 | 4 | 5 | |
| 6 | 新潟医療 | ●2-12 | ●1-5 | ●0-5 | ●1-6 | ●1-11 | ●4-8 | ○3-0 | ○6-0 | ○4-3 | 3 | 6 | |
| 7 | 作新学院 | ●0-12 | ●4-10 | ●0-10 | ●1-7 | ●3-4 | ○8-4 | ○4-1 | ○3-2 | ●0-10 | 3 | 6 | |
| 8 | 関東学園 | ●0-9 | ●0-8 | ●2-7 | ●0-3 | ○2-0 | ●0-3 | ●1-4 | ○3-5 | ○1-0 | 2 | 7 | |
| 9 | 新潟大学 | ●0-15 | ●0-15 | ●3-15 | ●3-7 | ●3-7 | ●0-6 | ●2-3 | ○5-3 | ○5-4 | 2 | 7 | |
| 10 | 常磐大学 | ●1-8 | ●0-11 | ●2-6 | ●0-6 | ●0-7 | ●3-4 | ○10-0 | ●0-1 | ●4-5 | 1 | 8 | |

男子サッカー部

2023シーズンを振り返って

サッカーの長いシーズンが終わろうとしています。この原稿を執筆している12月7日に出場を目指していたインカレが開幕、12月24日の決勝戦で大学サッカーのシーズンも全て終了です。今シーズンを振り返ると、1月7日にチームが始動、3月26日に長野県選手権(天皇杯予選)準々決勝で勝利、4月23日に同準決勝でAC長野パルセイロに惜敗。4月15日に開幕した北信越大学サッカーリーグ1部は11月4日が最終節(結果は8勝4敗2分で8チーム中2位、1位のみがインカレ出場)。この間、6月に総理大臣杯(準々決勝で敗退)、11月に新人戦(準決勝でPK敗退)と2つのトーナメントを戦いました。

成績は現状の実力通りの、悪くはないシーズンでした。来シーズンは久々の全国大会出場を、ひっそりと狙っていきます。

(男子サッカー部部長兼監督 齊藤 茂)



■第51回北信越大学サッカーリーグ 1部後期リーグ戦【試合結果】

| 順位 | 大学名 | 新潟医療 | 松本大学 | 新潟経営 | 新潟産業 | 北陸大学 | 金沢学院 | 金沢星稜 | 新潟大学 | 勝 | 負 | 分 |
|----|------|--------------|---------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|---------------|----|----|---|
| 1 | 新潟医療 | ○3-0 ○3-0 | ○3-0 ○3-0 | △0-0 △0-0 | ○3-0 ○4-0 | ○4-1 ○7-0 | ○5-0 ○1-0 | ○4-0 ○3-0 | ○7-0 ○5-0 | 13 | 0 | 1 |
| 2 | 松本大学 | ●0-3 ●0-3 | △2-2 △3-3 | ○4-1 ○1-2 | ○4-1 ○1-2 | ●1-3 ○5-1 | ○3-1 ○2-1 | ○3-0 ○2-1 | ○10-1 ○2-0 | 8 | 4 | 2 |
| 3 | 新潟経営 | △0-0 △0-3 | △2-2 △3-3 | ○4-2 ●0-1 | ○5-1 △1-1 | ●0-1 ○1-2 | ○2-1 ○2-0 | ○6-1 ○5-1 | ○6-1 ○5-1 | 6 | 4 | 4 |
| 5 | 新潟産業 | ●0-3 ●0-4 | ●1-4 ○2-1 | ●2-4 ○1-0 | ○1-2 ○4-1 | ○1-0 ○3-2 | △2-2 ●0-1 | ○4-1 ○3-1 | ○4-1 ○3-1 | 7 | 6 | 1 |
| 4 | 北陸大学 | ○1-4 ○0-7 | ○3-1 ○0-2 | ○1-5 △1-1 | ○2-1 ●1-4 | ○2-1 ○1-0 | ○1-1 ○1-0 | ○4-0 △1-1 | ○4-0 ○5-0 | 6 | 5 | 3 |
| 6 | 金沢学院 | ●0-5 ●0-1 | ●1-3 ○1-5 | ○1-0 ○2-1 | ●0-1 ●2-3 | ●1-2 ○0-1 | ○4-1 ○1-2 | ○5-0 ○5-0 | ○5-0 ○5-0 | 5 | 9 | 0 |
| 7 | 金沢星稜 | ○0-4 ●0-3 | ○0-3 ●1-2 | ○1-2 ●0-2 | △2-2 ○1-0 | △1-1 ●0-1 | ○4-1 ○1-2 | △2-2 △4-0 | △2-2 △4-0 | 3 | 8 | 3 |
| 8 | 新潟大学 | ●0-7 ●0-5 | ●1-10 ●0-2 | ●1-6 ●1-5 | ●1-4 △1-1 | ●0-4 △1-1 | ●0-5 ●0-5 | △2-2 ●0-4 | ○0-4 ○0-4 | 0 | 12 | 2 |

女子ソフトボール部

今後のさらなる活躍を期待! 競技力向上拠点クラブに指定

長野県競技力向上対策本部で今年度より実施となった令和5年度成年強化拠点クラブ指定事業で女子ソフトボール部が競技力向上拠点クラブとして指定されました。この事業は2028年に長野県で開催される国民スポーツ大会(国民体育大会)での活躍が期待される団体を指定し、県が強化支援をするもので、今年度は41競技37団体が指定されました。



第17回全日本テコンドー選手権兼パリ五輪アジア大陸別予選日本代表選考会予選
(12月3日(日) / 愛知県名古屋 愛知県武道館)

キョルギの部
○73kg級 優勝
前原 愛莉(健康栄養学科2年)
○46kg級 初戦敗退
小野里 帆純(松商短期大学部2年)

優勝した前原さんは、1月6日~7日に開催される2024/パリ五輪アジア大陸別予選日本代表選考会に出場する予定です。

2024年度 入試日程

■ 総合経営学部（総合経営学科／定員90名、観光ホスピタリティ学科／定員80名）

| 選抜区分 | 募集人員 | | 会場等 | 出願期間（必着） | 試験日 | 合格発表日 |
|-----------------|------|-----------|--------------------------|----------------------|----------------------|-----------|
| | 総合経営 | 観光ホスピタリティ | | | | |
| 一般選抜 A（全学共通） | 20 | 15 | 松本大学・長野・新潟・上越・甲府 松本大学 | 1月 3日（水）～ 1月 26日（金） | 2月 3日（土） 2月 4日（日） | 2月 15日（木） |
| 一般選抜 B（全学共通） | 3 | 3 | 松本大学 | 2月 5日（月）～ 2月 16日（金） | 2月 26日（月） | 3月 1日（金） |
| 一般選抜 C（全学共通） | 2 | 2 | 松本大学 | 2月 22日（木）～ 3月 11日（月） | 3月 13日（水） | 3月 14日（木） |
| 大学入学共通テスト利用選抜Ⅰ期 | 8 | 6 | | 1月 3日（水）～ 2月 2日（金） | | 2月 15日（木） |
| 大学入学共通テスト利用選抜Ⅱ期 | 2 | 2 | | 2月 5日（月）～ 2月 20日（火） | | 3月 1日（金） |
| 大学入学共通テスト利用選抜Ⅲ期 | 2 | 2 | | 2月 22日（木）～ 3月 11日（月） | | 3月 14日（木） |
| 外国人留学生選抜後期 | 若干名 | 若干名 | 松本大学 | 2月 5日（月）～ 2月 16日（金） | 2月 26日（月） | 3月 1日（金） |

■ 人間健康学部（健康栄養学科／定員70名、スポーツ健康学科／定員100名）

| 選抜区分 | 募集人員 | | 会場等 | 出願期間 | 試験日 | 合格発表日 |
|-----------------|------|--------|--------------------------|----------------------|----------------------|-----------|
| | 健康栄養 | スポーツ健康 | | | | |
| 一般選抜 A（全学共通） | 12 | 17 | 松本大学・長野・新潟・上越・甲府 松本大学 | 1月 3日（水）～ 1月 26日（金） | 2月 3日（土） 2月 4日（日） | 2月 15日（木） |
| 一般選抜 B（全学共通） | 3 | 3 | 松本大学 | 2月 5日（月）～ 2月 16日（金） | 2月 26日（月） | 3月 1日（金） |
| 一般選抜 C（全学共通） | 若干名 | 2 | 松本大学 | 2月 22日（木）～ 3月 11日（月） | 3月 13日（水） | 3月 14日（木） |
| 大学入学共通テスト利用選抜Ⅰ期 | 8 | 10 | | 1月 3日（水）～ 2月 2日（金） | | 2月 15日（木） |
| 大学入学共通テスト利用選抜Ⅱ期 | 2 | 2 | | 2月 5日（月）～ 2月 20日（火） | | 3月 1日（金） |
| 大学入学共通テスト利用選抜Ⅲ期 | 若干名 | 2 | | 2月 22日（木）～ 3月 11日（月） | | 3月 14日（木） |

■ 教育学部（学校教育学科／定員80名）

| 選抜区分 | 募集人員 | | 会場等 | 出願期間 | 試験日 | 合格発表日 |
|-----------------|------|--------|--------------------------|----------------------|----------------------|-----------|
| | 健康栄養 | スポーツ健康 | | | | |
| 一般選抜 A（全学共通） | 20 | | 松本大学・長野・新潟・上越・甲府 松本大学 | 1月 3日（水）～ 1月 26日（金） | 2月 3日（土） 2月 4日（日） | 2月 15日（木） |
| 一般選抜 B（全学共通） | 2 | | 松本大学 | 2月 5日（月）～ 2月 16日（金） | 2月 26日（月） | 3月 1日（金） |
| 一般選抜 C（全学共通） | 2 | | 松本大学 | 2月 22日（木）～ 3月 11日（月） | 3月 13日（水） | 3月 14日（木） |
| 大学入学共通テスト利用選抜Ⅰ期 | 10 | | | 1月 3日（水）～ 2月 2日（金） | | 2月 15日（木） |
| 大学入学共通テスト利用選抜Ⅱ期 | 2 | | | 2月 5日（月）～ 2月 20日（火） | | 3月 1日（金） |
| 大学入学共通テスト利用選抜Ⅲ期 | 2 | | | 2月 22日（木）～ 3月 11日（月） | | 3月 14日（木） |
| 大学入学共通テスト利用選抜Ⅳ期 | 若干名 | | | 3月 7日（木）～ 3月 18日（月） | | 3月 22日（金） |
| 総合型選抜（一般Ⅱ期） | 若干名 | | | 3月 7日（木）～ 3月 18日（月） | 3月 21日（木） | 3月 22日（金） |

■ 松商短期大学部（商学科・経営情報学科／各学科 定員100名）

| 選抜区分 | 募集人員 | | 会場等 | 出願期間 | 試験日 | 合格発表日 |
|-----------------|------|------|------------------|---------------------|-----------|-----------|
| | 商 | 経営情報 | | | | |
| 一般選抜 A | 6 | 6 | 松本大学・長野・新潟・上越・甲府 | 1月 3日（水）～ 1月 26日（金） | 2月 3日（土） | 2月 15日（木） |
| 一般選抜 B | 2 | 2 | 松本大学 | 2月 15日（木）～ 3月 3日（日） | 3月 8日（金） | 3月 14日（木） |
| 一般選抜 C | 2 | 2 | 松本大学 | 3月 7日（木）～ 3月 18日（月） | 3月 21日（木） | 3月 22日（金） |
| 大学入学共通テスト利用選抜Ⅰ期 | 6 | 6 | | 1月 3日（水）～ 2月 2日（金） | | 2月 15日（木） |
| 大学入学共通テスト利用選抜Ⅱ期 | 2 | 2 | | 2月 15日（木）～ 3月 4日（月） | | 3月 14日（木） |
| 大学入学共通テスト利用選抜Ⅲ期 | 2 | 2 | | 3月 7日（木）～ 3月 18日（月） | | 3月 22日（金） |

■ 松本大学大学院/健康科学研究科（博士前期課程・博士後期課程）

| 選抜区分 | 募集人員 | | 会場等 | 出願期間 | 試験日 | 合格発表日 |
|---------------------|------|------|------|---------------------|----------|-----------|
| | 博士前期 | 博士後期 | | | | |
| 選抜Ⅱ期（一般学生、学内推薦、社会人） | 3 | 1 | 松本大学 | 1月 3日（水）～ 1月 26日（金） | 2月 4日（日） | 2月 15日（木） |

■ 松本大学大学院/総合経営研究科（修士課程）

| 選抜区分 | 募集人員 | 会場等 | 出願期間 | 試験日 | 合格発表日 |
|---------------------|------|------|---------------------|----------|-----------|
| 選抜Ⅱ期（一般学生、学内推薦、社会人） | 2 | 松本大学 | 1月 3日（水）～ 1月 26日（金） | 2月 4日（日） | 2月 15日（木） |

詳しくはホームページでご確認いただくか、入試広報室までお問い合わせください。

www.matsumoto-u.ac.jp ☎0120-507-200

高校生のための授業公開を実施

2018年度以降、授業公開が実施できていませんでしたが、祝日授業日の11月23日に5年ぶりに「高校生のための授業公開」を復活させました。当日は、教育学部と松商短期大学部限定での公開となりましたが、それでも49名の高校生による申し込みがあり、保護者を含め当日は100名以上の方にご参加いただきました。

受付で構内図をお渡しし、見たい授業の教室へは参加者の方々が直接教室に行ってください

ました。オープンキャンパスでは見られない、大学・短大生が学内にあるキャンパスの雰囲気や実際に授業を受けている様子、学びの内容などを体感いただけたと思います。当日は学食体験もしていただきました。

参加者からは、「構内の雰囲気がよく、道に迷った時に話しかけて案内をしてもらいとても助かった」「設備の充実さ、講義の専門性が見学を通して知れた」などの感想が寄せられました。



来年度は全学部を対象に実施予定です。皆さんのこれからの進路選択の一助となれば幸いです。

編集後記

企業が選ぶ2023年を表す漢字アンケートで、1位は「変」になりました。物価高や人手不足、戦乱による世の中の変化は、私たちの生活や働き方にも影響を及ぼしているの、納得の一文字だと思います。本学でも2023年は「変」を感じました。4月以降は、コロナ前とほぼ同じように、授業も学校行事も行われています。コロナ禍の制限で我慢を強いられてきた学生たちが、学内外でのびのびと学び、行事を楽しみ、学生生活を満喫することができるようになったことは、喜ばしい変化です。来年は平和で穏やかな社会で、さらに充実した学生生活を送れますように。

（記・全学入試広報委員長 金子 能呼）



〒390-1295 長野県松本市新村2095-1
TEL 0263-48-7200 FAX 0263-48-7290
www.matsumoto-u.ac.jp